

在日米軍に関する住民の安心・安全の確保について

【担当省庁：外務省、防衛省】

米軍・経ヶ岬通信所に関して、住民の安心・安全の確保のため、以下の事項に総力を挙げて取り組んでいただきたい。

- 京都府から防衛大臣へ平成25年9月10日に確認した「米軍T PY-2レーダー配備に係る確認・要請事項」に基づき、事件・事故の未然防止や騒音対策などについて、確実に実行していただきたい。
- ① ドクターヘリ運航時のレーダー停波について、手続きが円滑に行われず、患者搬送が遅延した事例の発生を踏まえ、二度とこうした事例が発生することがないように、円滑な停波実施について米軍に徹底させること
- ② ディーゼル発電機による自家発電の騒音問題について、その抜本的対策となる商用電力の導入を速やかに完了させるとともに、交通事故の未然防止について、交通安全講習会の全員受講や集団通勤の徹底など、効果的な防止策の実施や、米軍関係者への継続的な交通安全の徹底を図ること
- ③ 米軍大型車両等が通行するため、車両や歩行者の危険、道路の損傷、避難道路の確保が必要との観点から、道路の安全確保のための道路整備予算を確保すること
- ④ 現在実施中のⅡ期工事について、国として責任を持って住民に対して工事の情報提供を行い、理解を得ながら工事を進めさせると同時に、安全対策について米軍に徹底させること
- 陸上自衛隊福知山射撃場の米軍人・軍属の限定使用に当たっては、平成28年11月8日に防衛大臣が書面で確約した事項について確実に実行するとともに、特に、安全管理対策や騒音対策については、早急に実施していただきたい。
- 米軍構成員等が起こした事件・事故において、日本側が裁判権を有する場合の被疑者の速やかな移転（日本側への引渡し）など、日米地位協定の改定に速やかに着手していただきたい。

京都府
の担当課

総務部 総務調整課 (075-414-4023)

- ドクターヘリ運航時のレーダー停波
 - ドクターヘリ運航時のレーダー停波については、円滑な停波実施に向け、これまで要請のマニュアル化、定期的な訓練の実施などに取り組んできた。
 - 本年5月15日にレーダー停波がなされず、傷病者の搬送が約17分遅延した事例が発生
 - 関係機関と米軍での原因究明を踏まえ、手続きの改善や訓練の見直しなどを通じて再発防止を徹底していただきたい。
- 米軍・経ヶ岬通信所における商用電力の導入及び交通事故の未然防止
 - 商用電力の導入
 - ・ 京都府京丹後市にある米軍経ヶ岬通信所の発電機の騒音について、これまでから防衛省及び米軍に対処策を施すよう申し入れなどを行ってきたところ、抜本的対策として、商用電力の導入を行うとされてきた。
 - ・ 商用電力の導入には、現地での安定的な電力供給が必要との観点から、京都府からも電力事業者へ電力供給設備等の早期整備を要請してきた中で、電力事業者においては鋭意整備が進められ、予定より1年前倒しの平成29年3月に完成した。
 - ・ 京都府からも防衛省や米軍に対して、早期の導入を要請してきたところ、防衛省から当初の予定より半年前倒しの平成29年10月頃の導入を進めるとのことであったが、米軍の入札不調から本年7月頃になるとの説明を受けていた。
 - ・ しかし、地域事情に合わせて導入機器の安全性を高めるための仕様変更のため、現時点では一部（低電圧用機器）商用電力が本年8月頃に導入され、完全移行は本年10月頃になるとの説明を受けている。
 - ・ 米軍においては、必要な設備整備を行うとともに、防衛省も米軍と連携して商用電力への完全移行が前倒しされるよう、取り組んでいただきたい。
 - 交通事故の未然防止
 - ・ 過去4年間で交通事故が約60件発生（米側被害含む）しており、安全運転講習会の全員受講などの未然防止について、全力を挙げて取り組んでいただきたい。
- 道路整備予算の確保
 - 米軍経ヶ岬通信所の設置に係る丹後半島の道路の安全確保のため、引き続き道路整備に特段の措置を講じていただきたい。
 - 民生安定施設整備事業（平成28年度 6.5億円、平成29年度 10億円、平成30年度 9億円）
- Ⅱ期工事の安全対策
 - 米軍経ヶ岬通信所のⅡ期工事（生活関連施設整備）が実施されている
 - 工事に際して、工事による騒音や工事用大型車両の通行などにより、住民生活への影響や、歩行者、一般通行車両への影響が懸念される。
 - Ⅱ期工事を実施する際に、土日や時間外は工事を行わない、大型車両通行に際してガードマンを設置する等の安全対策を行う旨、住民に周知されているが、これを確実に実行していただきたい。
- 陸上自衛隊福知山射撃場の騒音対策
 - 米軍経ヶ岬通信所の軍人・軍属が当該射撃場を使用し訓練するに当たり、騒音対策や安全管理対策の実施を防衛大臣へ要請し、適切に対応する旨回答を得ている。
 - このうち、安全管理対策として周囲をフェンスで囲むことについては、28年度から順次設置されてきているところ
 - 騒音対策については、防音フェンスの設置を進め、その効果を検証する中で、更に設置区域を延長するなど、騒音の低減に努められたい。
- 日米地位協定関係に関する要望(平成29年8月)
(渉外関係主要都道府県知事連絡協議会 平成29年度要望書)
 - 基地使用の可視化
 - 環境条項の新設
 - 米軍、米軍構成員等による事件・事故時の措置の充実
 - 地元意見の聴取に係る仕組みの新設 等